

令和5年 2月21日

令和4年（1～12月）

高島市の人口（社会増減）が 合併以来、初の「転入超過」に

▼概要

高島市では、令和2年度～令和6年度までの5年間、「第2期 高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進しています。

この戦略では、それまで年間300人ほどの転出超過だったものを、5年間で段階的に抑制し、令和6年度には社会増減をゼロにすることを目標にしています。

このたび、令和4年の「転入者数」－「転出者数」が+3人となり、転入超過となりました。

高島市の社会増減が「転入超過」に転じるのは、平成17年1月1日の合併以来、初となります。

近年の社会増減	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
転入者数 (人)	1,309	1,267	1,262	1,249	1,184	1,323
転出者数 (人)	1,576	1,586	1,649	1,513	1,346	1,320
社会増減 (人)	▲267	▲319	▲387	▲264	▲162	3

※上記数値については、「高島市住民記録異動事由別集計表」による。（転入、転出とも「届出日」）

※第2期総合戦略は年度で策定していますが、人口の計測については暦年（1～12月）で調査が行われるため、これまでから実績数値においては暦年のものを報告しています。

▼その他

人口については、社会増減（転入者数－転出者数）と自然増減（出生数－死亡数）が要素となるため、高島市全体の人口については依然減少していますが、市では県下でもトップクラスにある子育て支援策や、専任のコンシェルジュを置く「移住・定住コンシェルジュ事業」の推進により、「住みたい、住み続けたいまちの実現」を目指してきました。

また、令和4年度からは、高島市にあらゆる形で関わる関係人口を開拓する「高島リビング・シフト構想」を推進しています。

▼問い合わせ先

- 所 属：政策部 総合戦略課
- 担 当：戸田、向井
- 電話番号：0740-25-8114